

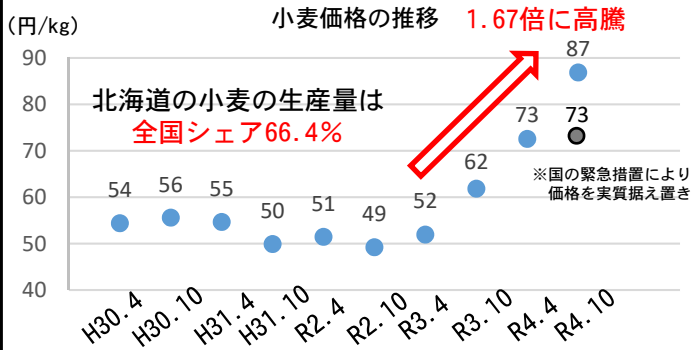


持続可能な社会

北海道の道路ネットワークは未だ多くが未整備

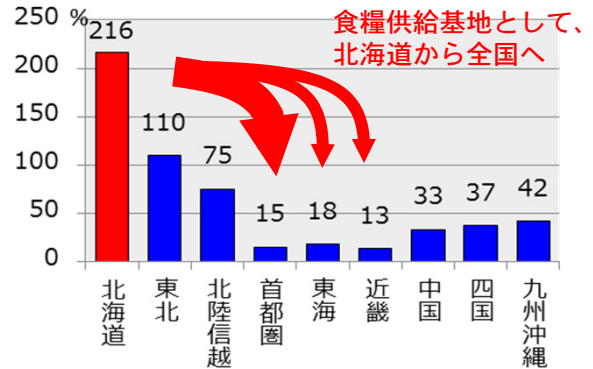
●高規格道路等ネットワークにおける現状

■国際情勢緊迫化による食料価格の高騰



【出典：輸入小麦の政府売渡価格の緊急措置について（令和4年9月）（農林水産省）】

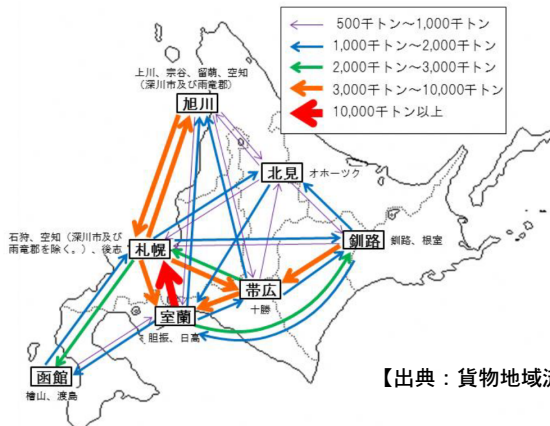
■食料自給率（カロリーベース）



【出典：2019年度（概算値）の都道府県別食料自給率（農林水産省）】

■北海道における物流の現状

道内における貨物の流動

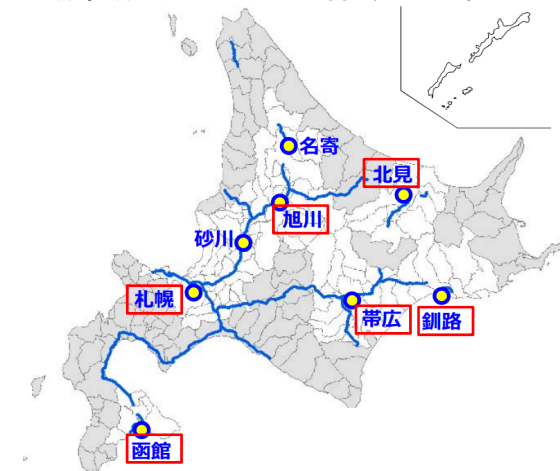


【出典：貨物地域流動調査（令和元年度）（国土交通省）】

道内間の輸送は、**約98%を自動車輸送**が担い、道内における貨物輸送を支えている。

本道～道外間の輸送は、**海上輸送が約93%**と多くを占めている。

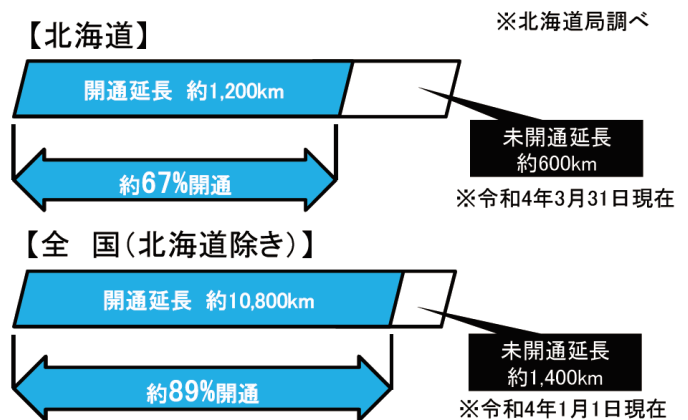
■救命救急センターが所在する都市



- : 救命救急センターが所在する市
- : 高規格幹線道路開通区間(2018年9月末時点)
- : 高次医療施設への60分圏外 (91市町村)
- : 高次医療施設への60分圏内 (88市町村)
- : 10万人以上の都市

【出展：北海道道路整備プログラム（令和4年3月）】

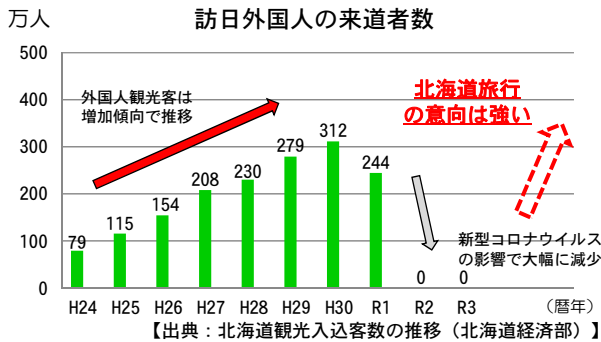
■高規格幹線道路の開通率



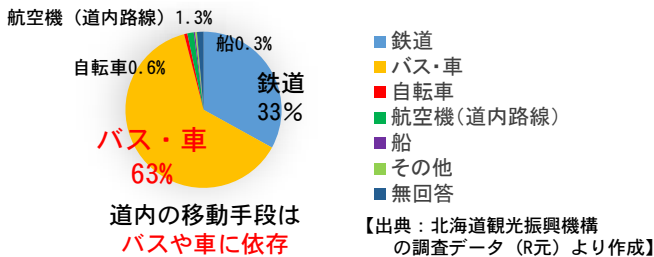
- ・食料安全保障の強化における北海道の果たす役割は大きい
- ・半数以上の市町村が高次医療施設へ60分以上の時間を要する

さらなる道路ネットワークの整備が課題

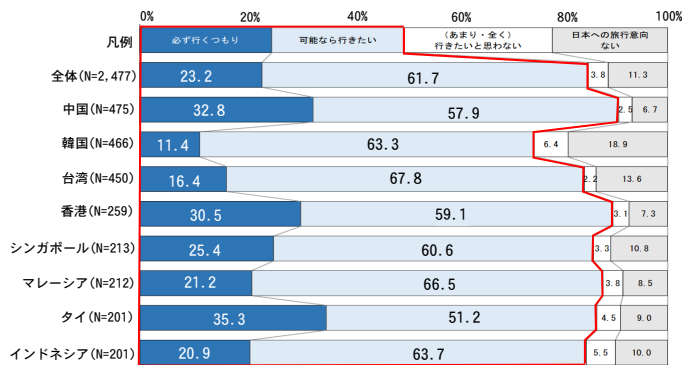
■外国人観光客の状況



外国人観光客の道内の移動手段



コロナ禍収束後における北海道旅行意向



8カ国の外国人は、北海道に「必ず行くつもり」「可能なら行きたい」と平均85%が回答

新型コロナウイルス感染症の拡大により、訪日外国人観光客が激減しているが、コロナ禍収束後においては、北海道旅行の意向は強い状況。外国人観光客の道内の移動手段はバスや車に依存しており、道路ネットワークの整備が重要。

●除排雪における状況

■雪崩発生状況



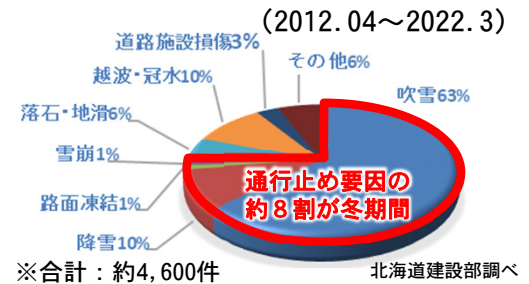
道道日吉端野線（北見市）

■令和4年2月大雪の状況



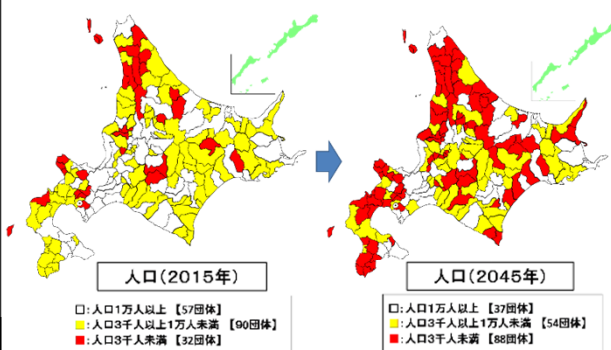
摩周湖斜里線（清里町）

■道道の通行止めの要因



●まちづくりを取り巻く現状

■道内市町村の人口推移



【出典：北海道総合計画（令和3年10月）】

- ・2045年には約半数の市町村で人口3千人を下回る
- ・札幌への人口集中、地方の過疎化が進行。

■地方移住への関心

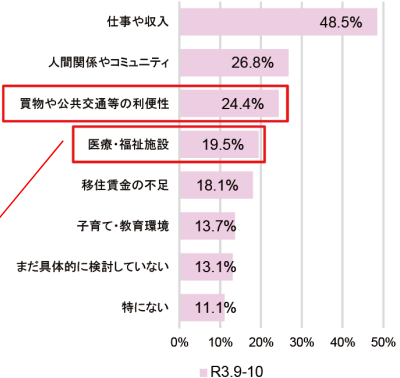
東京圏在住で地方移住に関心がある人は令和元年からの2年間で

34.0%に増加
(R3.9)

25.3%(R1.12)から8.7%増

地方暮らしで多くの人が買物等の利便性などの生活環境を懸念

地方移住にあたっての懸念



【出典：第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（内閣府）】

新型コロナウイルス感染症の拡大により地方移住への関心が高まっており、利便性確保に向けたインフラ整備が課題。

物流や医療、観光を支えるインフラの強化が不可欠